

プログラム 第1日目 10月13日 (土)

9:30-9:35 会頭挨拶

第28回日本色素細胞学会学術大会 会頭 錦織 千佳子

9:35-11:50 「Pigmentary Disorders Workshop」

座長：片山 一朗 (大阪市立大学大学院医学系研究科 色素異常症治療共同研究部門),
船坂 陽子 (日本医科大学皮膚科)

W-1 Melasma: Updates and Perspectives

Kyoung-Chan Park, Jung-Won Shin, Soon-Hyo Kwon, Jung-Im Na, Hye-Ryung Choi
Seoul National University, College of Medicine
Seoul National University Bundang Hospital, Korea

W-2 Phototherapy in Vitiligo: Efficacy and Mechanism

Cheng-Che E. Lan
Department of Dermatology, Kaohsiung Medical University Hospital and College of Medicine,
Kaohsiung, Medical University

W-3 Transplantation of Autologous Skin Cells (cellular grafting) for Vitiligo: Optimising Results

Boon-Kee Goh
Skin Physicians Private Limited, Mount Elizabeth Medical Centre, Singapore

W-4 Dowling-Degos diseaseの1例

河野 通浩 (こうの みちひろ) (1), 澤田 昌樹 (さわだ まさき) (2),
荻 朋男 (おぎ ともお) (3), 秋山 真志 (あきやま まさし) (1)
(1) 名古屋大学 皮膚科, (2) 名古屋第一赤十字病院 皮膚科,
(3) 名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野

W-5 ビタミンC美容液オバジCセラム®によるcosmetic induced leukodermaを疑った1例

高藤 円香 (たかふじ まどか), 種村 篤 (たねむら あつし), 片山 一朗 (かたやま いちろう)
大阪大学皮膚科

W-6 チロシナーゼ遺伝子膜貫通領域に新規バリエーションを検出した眼皮膚白皮症1型の一例

肥田 時征 (ひだ ときまさ), 黄倉 真恵 (おうくら まさえ), 菅 裕司 (かん ゆうじ),
宇原 久 (うはら ひさし)
札幌医科大学医学部皮膚科

W-7 NGS解析から見てきた白皮症と色白の境界線 2017年度日本色素細胞学会奨励賞

岡村 賢 (おかむら けん), 荒木 勇太 (あらかき ゆうた), 斎藤 亨 (さいとう とおる),
穂積 豊 (ほづみ ゆたか), 鈴木 民夫 (すずき たみお)
山形大学皮膚科

15:20-16:20 **一般演題：「Stem Cell」**

座長：大沢 匡毅（岐阜大学大学院 医学系研究科），國貞 隆弘（岐阜大学大学院 医学系研究科）

O1-6 Genome-wide expression profiling of CD34+ and CD34- melanocyte stem cells highlights their functional differences

Sandeep S. Joshi(1), Bishal Tandukar(1), Li Pan(1), Jennifer M. Huang(1), Ferenc Livak(2)(5), Barbara J. Smith(7), Theresa Hodges(4), Anup A. Mahurkar(4), Thomas J. Hornyak(1)(3)(5)(6)(8)

Departments of (1)Biochemistry and Molecular Biology,(2)Microbiology and Immunology, (3)Dermatology, and (4)Institute for Genome Sciences, (5)Marlene and Stuart Greenebaum Cancer Center, University of Maryland School of Medicine, (6)Research & Development Service, VA Maryland Health Care System, (7)Institute for Basic Biomedical Sciences, Johns Hopkins Medicine, Baltimore, Maryland, USA, (8)Dermatology Branch, CCR, NCI, NIH, Bethesda, Maryland, USA.

O1-7 iPS細胞からメラノサイト前駆細胞を介したメラノサイト分化過程におけるWNTシグナル経路の相互作用について

保坂 千恵子（ほさか ちえこ）（1），国定 充（くにさだ まこと）（1），小柳 三千代（こやなぎ みちよ）（2），正木 太朗（まさき たろう）（1），竹森 千尋（たけもり ちひろ）（1），青井 貴之（あおい たかし）（2）
錦織 千佳子（にしごり ちかこ）（1）

（1）神戸大学医学部附属病院 皮膚科，（2）神戸大学医学研究科iPS細胞応用医学分野

O1-8 Muse細胞からのin vitroでの色素細胞誘導過程は、生体の色素細胞の分化誘導過程と類似する。2017年度日本色素細胞学会奨励賞

山内 丈史（やまうち たけし），山崎 研志（やまさき けんし），土山 健一郎（つちやま けんいちろう），小池 咲綾（こいけ さあや），東北大学大学院医学系研究科 皮膚科学分野

16:25-17:25 **特別講演**

座長：錦織 千佳子（神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野）

「トンボの体色形成メカニズム」

演者：二橋 亮（産業技術総合研究所）

18:00-20:00 **懇親会**（於：アリストンホテル神戸 16階 バルセロナ）

プログラム 第2日目 10月14日 (日)

8:30-9:00 総会

9:00-9:50 一般演題：「Gene Analysis」

座長：秋山 豊子（慶應義塾大学 生物学教室），鈴木 民夫（山形大学 医学部 皮膚科学講座）

**O2-1 同一患者由来の悪性黒色腫と正常色素細胞の遺伝子発現およびメチル化解析
～診断マーカーとしてのNPM2の検討～**

藤原 進（ふじわら すすむ）(1)，神保 晴紀（じんぼ はるき）(1)，
永井 宏（ながい ひろし）(1)，錦織 千佳子（にしごり ちかこ）(1)，
神保 直江（じんぼ なおえ）(2)，田中 朋代（たなか ともよ）(3)，
井家 益和（いのいえ ますかず）(3)

(1) 神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野，
(2) 神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理診断学分野，
(3) 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部

O2-2 ヒトメラノサイト増殖病変における代謝型グルタミン酸受容体1型の発現とERKのリン酸化状態

船坂 陽子（ふなさか ようこ）(1)，佐伯 秀久（さえき ひでひさ）(1)，
錦織 千佳子（にしごり ちかこ）(2)

(1) 日本医科大学皮膚科，(2) 神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野

O2-3 メラノサイト特異的ノックダウンマウスによる機能遺伝子の探索

大沢 匡毅（おおさわ まさたけ），矢澤 重信（やざわ しげのぶ）
岐阜大学大学院医学系研究科 再生医科学専攻

O2-4 脈絡膜メラノサイト機能の遺伝学的解析

澁谷 仁寿（しぶや ひろとし）(1)(2)，渡邊 京祐（わたなべ きょうすけ）(1)，
奈良 篤樹（なら あつき）(1)，田端 希多子（たばた きたこ）(3)，
佐藤 美穂（さとう みほ）(3)，前野 哲輝（まえの あきてる）(4)，
菅野 江里子（すがの えりこ）(3)，田村 勝（たむら まさる）(2)，
富田 浩史（とみた ひろし）(3)，城石 俊彦（しろいし としひこ）(4)，
山本 博章（やまもと ひろあき）(1)

(1) 長浜バイオ大 バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科，
(2) 理研BRC マウス表現型解析開発チーム，
(3) 岩手大 理工学部 応用化学・生命工学科，(4) 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝

9:55-10:45 一般演題：「Melanogenesis 1」

座長：芋川 玄爾（宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター），

若松 一雅（藤田保健衛生大学 医療科学部 化学教室）

O2-5 B16細胞におけるラタノプロストのメラニン産生促進機構

恒川 友紀 (つねかわ ゆうき), 濱中 沙絵里 (はまなか さえり), 岩瀬 徳郎 (いわぶち とくろう)
東京工科大学応用生物学部

O2-6 メラノサイトとケラチノサイトもしくはファイibroプラストとの2種細胞共培養系を用いたメラニン生成調節作用の評価

柳 大樹 (やなぎ ひろき) (1), 吉本 聖 (よしもと さとし) (1),
江口 琴音 (えぐち ことね) (1), 八木 政幸 (やぎ まさゆき) (2),
藤井 敬二 (ふじい けいじ) (2)(3), 市橋 正光 (いちはし まさみつ) (4),
安藤 秀哉 (あんどう ひでや) (1)
(1) 岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科, (2) ロゼット株式会社, (3) 株式会社pdc,
(4) 同志社大学生命医科学部

O2-7 UVA照射によるPMの酸化促進作用の増強

田中 ひとみ (たなか ひとみ) (1), 山下 結 (やました ゆい) (2),
梅澤 佳奈 (うめざわ かな) (2), 伊藤 祥輔 (いとう しょうすけ) (2),
若松 一雅 (わかまつ かずまさ) (1)(2)
(1) 藤田保健衛生大学大学院保健学研究科生体情報検査科学分野, (2) 藤田保健衛生大学医療科学部化学教室

O2-8 ヒ素曝露はケラチノサイトにおけるNF-kappa B/Endothelin-1シグナルを介して黒皮症を誘発する

矢嶋 伊知朗 (やじま いちろう), 大神 信孝 (おおがみ のぶたか),
加藤 昌志 (かとう まさし)
名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学

10:45-11:35 一般演題：「Melanogenesis 2」

座長：矢嶋 伊知朗 (名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学),
山崎 研志 (東北大学大学院医学系研究科 皮膚科学)

O2-9 頭部脱色素性母斑におけるメラニン生合成障害の検討

大磯 直毅 (おおいそ なおき) (1), 若松 一雅 (わかまつ かずまさ) (2),
柳原 茂人 (やなぎはら しげと) (1), 川田 暁 (かわだ あきら) (1)
(1) 近畿大学 皮膚科, (2) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科

O2-10 塩酸水解はヒトの黒色ないし褐色毛に少量かつ一定量のフェオメラニンが存在することを示す

伊藤 祥輔 (いとう しょうすけ) (1), 三宅 志穂 (みやけ しほ) (2),
丸山 昌二 (まるやま しょうじ) (2), 鈴木 格 (すずき いたる) (2),
Stéphane Commo (3), 中西 由紀子 (なかにし ゆきこ) (1),
若松 一雅 (わかまつ かずまさ) (1)
(1) 藤田保健衛生大学医療科学部化学教室, (2) 日本ロレアルR&I,
(3) L'Oréal Research and Innovation

O2-11 カゼインキナーゼはp53依存性サンバーン防護的色素生成過多を引き起こす

チャン (1, 2), スー (1), ジャン (3), スチーウ (4), 伊藤 (5), 若松 (5), シー (6), ベン・ネリア (7)
(1) 皮膚研究所 花蓮ツウーチ病院 花蓮 台湾, (2) 医科学研究所 花蓮ツウーチ大学 花蓮 台湾,
(3) 国立動物研究センター 台南 台湾, (4) 分子病理学ゲノムセンター マールブルク ドイツ,
(5) 藤田保健衛生大学 化学教室, (6) 医科学研究所 台北 台湾,
(7) ローテンブルク免疫がん研究センター エルサレム イスラエル

O2-12 水分子との結合を考慮したロドデンドロールキノンの反応モデルによる反応解析

岸田 良 (きしだ りょう) (1), 笠井 秀明 (かさい ひであき) (2)

(1) 九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 生体材料学分野, (2) 明石工業高等専門学校

11:55-12:55 **ランチョンセミナー 2** 共催：花王株式会社

座長：船坂 陽子 (日本医科大学皮膚科)

LS-2 The unfold protein response protects melanocytes against leukoderma-inducing chemotoxins

演者：Prashiela Manga (The Ronald O. Perelman Department of Dermatology,
New York University School of Medicine)

13:05-14:20 **一般演題：「Melanocyte Biology」**

座長：福田 光則 (東北大学大学院 生命科学研究科), 吉田 尚弘 (医療法人社団董会名谷病院)

O2-13 The role of CCN1 on the biological function of normal human epidermal melanocytes

Leihong Flora Xiang, Zhongyi Xu, Chengfeng Zhang

Department of Dermatology, Huashan Hospital, Fudan University, China

O2-14 TLR3刺激はケラチノサイトにおいてRHOA及びCDC42の活性化を介してメラノソームのエンドサイトーシスを促進する

小池 咲綾 (こいけ さあや), 山崎 研志 (やまさき けんし), 山内 丈史 (やまうち たけし),
土山 健一郎 (つちやま けんいちろう), 相場 節也 (あいば せつや)

東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野

O2-15 Rab32/Rab38に対する不活性化因子RUTBC1の色素細胞における機能解析

大林 典彦 (おおばやし のりひこ) (1)(2), 丸橋 総史郎 (まるばし そうじろう) (2),
福田 光則 (ふくだ みつり) (2)

(1) 筑波大学医学医療系生理化学教室, (2) 東北大学大学院生命科学研究科膜輸送機構解析分野

O2-16 加齢依存的に濃淡の繰り返しパターンを創出する新規マウス毛色変異体の表現型解析

松宮 諒咲 (まつみや りさ) (1), 嶺井 隆平 (みねい りゅうへい) (1),
瀧川 和弥 (たきがわ かずや) (1), 福村 龍太郎 (ふくむら りゅうたろう) (2),
権藤 洋一 (ごんどう よういち) (2)(3), 天野 孝紀 (あまの たかのり) (4),
澁谷 仁寿 (しぶや ひろとし) (5), 田村 勝 (たむら まさる) (5),
若菜 茂晴 (わか な しげはる) (6), 城石 俊彦 (しろいし としひこ) (4),
山本 博章 (やまもと ひろあき) (1)

(1) 長浜バイオ大学・大学院バイオサイエンス研究科, (2) 理研・BRC・統合情報開発室,

(3) 東海大学医学部基礎医学系・分子生命科学, (4) 国立遺伝学研究所・哺乳動物遺伝,

(5) 理研・BRC・マウス表現型解析開発, (6) 神戸医療産業都市推進機構・先端医療・老化機構

O2-17 ケミカルシャペロンはタンパク質安定化を介し白斑誘発性ストレスからメラノサイトを保護する

近藤 雅俊 (こんどう まさとし), 笠松 慎也 (かさまつ しんや), 八谷 輝 (はちや あきら),
山口 さゆり (やまぐち さゆり), 村瀬 大樹 (むらせ だいき), 高橋 慶人 (たかはし よしと)
花王株式会社生物科学研究所

14:25-15:15 **一般演題：「Melanocyte Morphology」**

座長：安藤 秀哉（岡山理科大学），塚本 克彦（山梨県立中央病院）

O2-18 抗酸化剤は白斑患者由来のメラノサイトの液胞を消失させる

吉本 聖（よしもと さとし）(1), 柳 大樹（やなぎ ひろき）(1), 吉田 前生（よしだ もえみ）(1),
芝田 孝一（しばた たかかず）(2), 市橋 正光（いちはし まさみつ）(3),
安藤 秀哉（あんどう ひでや）(1)
(1) 岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科, (2) 医療法人しばた皮膚科クリニック,
(3) 同志社大学生命医科学部

O2-19 ヒトの表皮に存在するメラノサイトの数の再検討

廣部 知久（ひろべ ともひさ），榎並 寿男（えなみ ひさお）
新宿皮膚科

O2-20 尋常性白斑の色素再生パターンの分析

芝田 孝一（しばた たかかず）
医療法人しばた皮膚科クリニック

O2-21 加齢によるヒト毛髪メラノソームの形態変化

伊藤 隆司（いとう たかし）
花王株式会社ヘアケア研究所

15:20-15:40 **溝口昌子賞受賞講演**

座長：伊藤 祥輔（藤田保健衛生大学医療科学部）

Regulation of melanin synthesis by S-palmitoylation of tyrosinase

仁木 洋子（日本精化株式会社 化粧品研究開発部）

15:45-15:55 **Best Presentation 発表**

15:55-16:00 **閉会の挨拶**